

歯科の定期的な受診はホントに必要なのか？・・・の疑問にお答えします

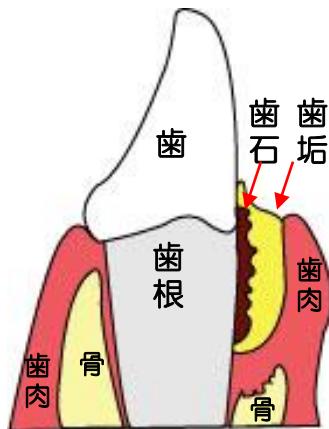
ご存知ですか？実は治療の後が歯周病予防に一番大切な時期なのです！！

歯周治療が終わっても、そこで気をゆるめてしまうと、歯周病が再発する危険があるのです。

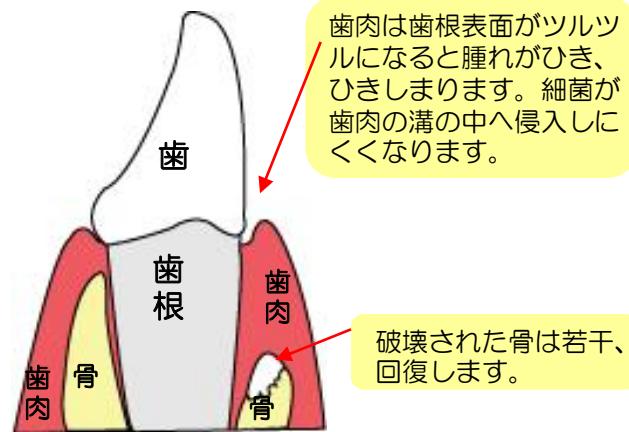
80歳で20本の健康な歯を残すためには、3ヶ月～6ヶ月に1度は、定期的に診療を受けましょう。

80歳なんて、まだまだ・・・なんてお思いの方は要注意！以下に年齢別平均残存歯の表をいれておいたのでご参考ください。

歯周病対策前



歯周病対策後



年齢別残存歯早見表

40～44歳	→ 27.5本
45～49歳	→ 26.4本
50～54歳	→ 24.8本
55～59歳	→ 23.6本
60～64歳	→ 21.3本
65～69歳	→ 18.3本
70～74歳	→ 15.2本
75～79歳	→ 10.7本
80～84歳	→ 8.9本
85歳～	→ 6.0本

成人は全部で28本、親知らずを入れると32本の歯があります。

〔平成17年 厚生労働省歯科疾患実態調査〕

歯周病の治療法

1. フラッシング指導（上手なブラッシング法の習得と実践）
2. 専門的歯周病対策

歯（主に、歯根）の表面に付いた歯垢・歯石が一緒になった細菌の巣と病巣部を取り除いて、なおかつ歯（歯根）の表面をツルツルにします。ツルツルになった歯の表面は細菌を付着しにくくなります。

3. 歯周外科（中等度以上の歯周疾患症例に適用）

歯肉の奥深くまで歯垢・歯石がついた時、通常の歯石除去だけでは病巣部を取れない場合があります。そのような時、歯肉を少しづかして病巣部をとる手術を行います。

また、歯肉やアゴの骨が破壊されて無くなっている場合、歯肉や骨の移植手術や骨造成手術を行うこともあります。

定期的な歯周病検査をおススメする理由～他人事ではない！？知らないうちに進行するお口の病気～

私達が歯周病の検査をオススメする理由

心臓疾患の患者さんの8割が歯周病にかかっていたという事実をご存知ですか？歯周病は細菌感染症なので、血液を介して身体中を駆け巡ります。その為、血液循環の大本である心臓に最も負担がかかると言われています。つまり、歯周病は単なる歯ぐきの病気で、歯が抜けやすくなるだけではなく、命の危険性もあると言われているのです！



こんな検査をしています

1. レントゲン診査
2. 歯と歯ぐきの間の溝の深さを計ります
3. どの歯から出血するのかを調べる検査
4. 歯の動搖度を調べる検査

こんな症状にお悩みではありませんか？

- 1. お口の中がネバネバしていると感じる
- 2. 歯は磨いているのに口臭が気になる
- 3. 歯磨きの時に歯ぐきから出血した経験がある
- 4. 歯がぐらっと揺らぐ
- 5. あまり歯を丁寧に磨いた記憶がない
- 6. 家族の者に歯周病の方がいた
- 7. お薬を多く服用している
- 8. 物を噛んだ時に痛みを感じる
- 9. 疲れた時に歯が浮いた感じがする
- 10. 歯ぐきの色が赤黒くなっている

知ってました？歯が抜ける原因～歯を抜きたくない方、必読！



日本人は80歳で平均して7本の歯しか残っていない事実を知っていましたか？

その歯の抜ける原因としては、むし歯と歯周病によるものが大多数を占めますが、近年その歯周病によるものが増えています。

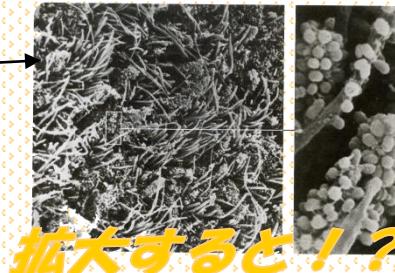
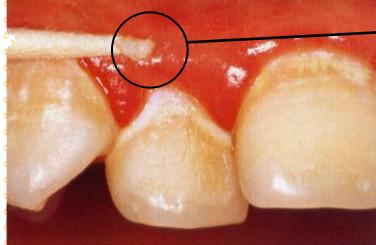
歯周病の一番の原因是「プラーク（歯垢）」と呼ばれる物質です。

歯について食べかすは、ほんの数分で、口腔内細菌が増殖して「プラーク」という**細菌の塊に変化**します。

それらが産出する酸、毒素や酵素によって歯周組織に炎症をおこし、歯周病となります。



これが「プラーク」です！！



拡大すると！？

気持ち悪い～と思うかも知れませんが

実はこれが「プラーク（歯垢）」！ついつい食べかすと勘違いしてしまいますが、実は**細菌の塊**なんです！お口の中にこんな細菌が密集しているなんて…びっくりですね。

歯周病を進行させる原因は

キチンと歯みがきができずにプラークが増えると、歯周病の原因になりますが、その他にも色々な原因があります

歯ぎしりやくいしばり

歯ぎしりやくいしばりをすると、歯を支えている骨（アゴの骨）に影響を与え、歯周病の進行を早めます。

甘い食べ物

砂糖（ショ糖、シュクロース）が細菌の一番の栄養源になって、プラークの成熟を助け、歯周病の原因となっています。

タバコ

喫煙は歯周病菌の増殖を助長し、歯肉の抵抗性を減弱させます。その為、歯周病の進行を早め、歯の寿命を短くします。